

だいにぎ議会だより



桜の木の下で（池田保育所）

改選後の初議会開く（第1回臨時会）	（2）
議員紹介	（3）
平成24年度予算関係（第1回定例会）	（4）
平成24年度主な事業・23年度補正予算	（5）
第1回定例会で審議された議案	（6）
一般質問に9人が登壇し、町政を問う	（7）～（15）
常任委員会等の構成・あしがき・その他	（16）

No.
169
平成24年
4月16日

新体制で スタート

平成24年 第1回臨時会

改選後の初議会を開く

町議会議員選挙が3月18日行われ、15人の議員が決まりました。

4月5日臨時議会が開か

れ、議長、副議長選挙や

議会運営委員会、各常任委員会の選任等が行われ、議長に吉成好信議員、副議長

に野内健一議員が選出されました。

議員の任期は平成24年3月31日から平成28年3月30日までの4年間です。

また、町長から7件の議

案が提出され、大子町監査委員の選任と、条例改正及び補正予算の専決処分について原案どおり承認されました。

案が提出され、大子町監査委員の選任と、条例改正及び補正予算の専決処分について原案どおり承認されました。

臨時会で審議された議案等

(選挙第一号)

○議長の選挙について

吉成好信議員

当選

(決定第一号)

○議席の指定について

(選挙第二号)

○副議長の選挙について

野内健一議員

当選

○常任委員会委員の選任について

○議会運営委員会委員の選任について

(選挙第三号)

○茨城北農業共済事務組合議会議員の選挙について

櫻岡義信議員
小林秀次議員

○大子町監査委員の選任について

大森勝夫議員

○条例改正(2件)及び補正予算(4件)の専決処分の承認を求めることについて

以上 原案承認

議長 就任あいさつ 吉成好信 議長

- ①大子
- ②8回
- ③無所属

この度の第1回臨時会におきまして、議員各位の御理解と御協力により第33代議長に就任することになりました。浅学非才でありましたが誠心誠意努力し重責を果たしていきたいと考えております。

震災による被害からの復旧、復興に向けた取り組みの中、町民の皆様への安心、安全のため、一日も早い防災行政無線の設置や消防体制(事故災害に向けた救急体制)の強化に取り組んでいきたいと思っております。更に過疎対策としてのブロード

バンド網全戸実現など、議会も一歩前に踏み出して町民目線で議論し、また円滑な議会運営に心がけていきますので、なお一層の御支援を心からお願ひ申し上げます。あいさついたします。

副議長 就任あいさつ 野内健一 副議長

- ①下津原
- ②3回
- ③公明党

平成24年第1回大子町臨時会において、議員各位の御推挙により第29代副議長の重責を担わせていただくこととなりました。

これら諸問題を改善するためには、町民の皆様からの御支援と御協力がどうしても必要です。

私達15人の議員は、皆様からの御意見、御要望を広く細かくお聞きするため、現在の議会運営のシステムを見直し、改善をして

以上 原案承認



町政を担う 議員紹介

〔任期4年〕平成24年3月31日から
平成28年3月30日まで

プロフィール ①住所 ②当選回数 ③党派



菊池 靖一
(58歳)

①冥賀 ②1回
③無所属



大森 勝夫
(44歳)

①頃藤 ②2回
③自由民主党



岡田 敏克
(65歳)

①大子 ②2回
③無所属



中郡 一彦
(60歳)

①大沢 ②1回
③無所属



櫻岡 義信
(54歳)

①小生瀬 ②1回
③無所属



鈴木 陸郎
(65歳)

①中郷 ②2回
③無所属



佐藤 正弘
(58歳)

①中郷 ②2回
③日本共産党



齋藤 忠一
(55歳)

①大生瀬 ②2回
③無所属



金澤 真人
(59歳)

①町付 ②2回
③無所属



小林 秀次
(69歳)

①頃藤 ②9回
③無所属



藤田 健
(72歳)

①初原 ②4回
③自由民主党



藤田 稔
(56歳)

①袋田 ②2回
③無所属



藤田 友晴
(46歳)

①上金沢 ②2回
③無所属

平成24年度一般会計予算 83億1,000万円

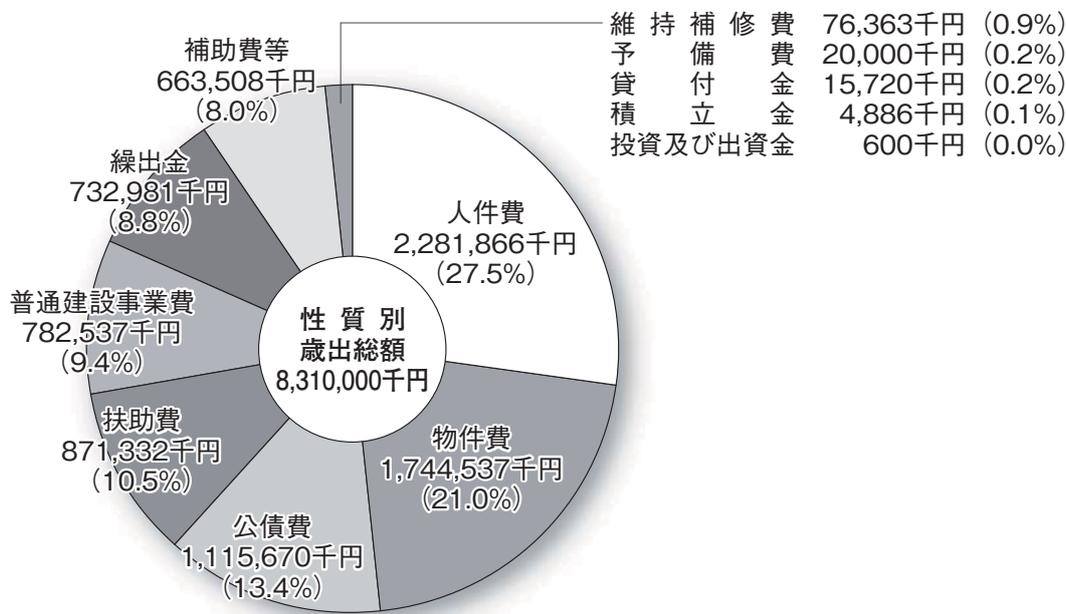
平成24年 第1回定例会

予算編成に 当たって

任期中最後の議会となる平成24年第1回定例会が、2月22日から3月2日まで
の10日間の会期で開かれ、平成24年度一般会計・特別会計予算など、町長提出議
案等30件が審議され原案どおり可決しました。
一般質問では、9人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。

「安心・安全のまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」、「豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり」の4本のまちづくり目標を設け、「ふるさとに誇りを持ち、お互いが支え合い、助け合いがあるまちづくり」を目指し、各種施策を推進することとしました。

この結果、一般会計予算の総額は、83億1000万円で、前年度当初に比し、1億5300万円、1.8%の減となり、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせた総額は、142億8699万2千円で、前年度当初予算額に比し1億8137万6千円、1.3%の増となりました。



平成24年度 各会計予算

会計別		予算額	前年度当初比較 (△減)
一般会計		83億1,000万円	△ 1億5,300万円
特別会計	国民健康保険事業	27億9,927万8千円	1億835万6千円
	後期高齢者医療	2億3,139万円	426万4千円
	介護保険	20億6,244万5千円	1億8,911万1千円
	介護サービス事業	1,245万5千円	21万8千円
企業会計	浄化槽整備事業	1億1,164万4千円	△ 667万7千円
	下水道事業	11万1千円	△ 277万1千円
	水道事業	7億5,966万9千円	4,187万5千円
総額		142億8,699万2千円	1億8,137万6千円

平成24年度の主要事業

◎安全・安心のまちづくり	
・本庁舎用非常電源設備の整備（災害時停電応急対策）	575万6千円
・地域防災計画の策定	588万円
・生活道路新設改良工事（矢倉線・堰ノ上線・性徳寺線・大久保線等）	3,566万円
・防火水槽設置（中郷・浅川・矢田・袋田・北富田）	2,211万円
・消防車両購入（老朽車両の更新）	880万9千円
◎安心して暮らせるまちづくり	
①高齢者等弱者に対する福祉の向上	
・乗合タクシーの運行事業（中心市街地への利便性の向上）	616万円
・町民無料バス運行事業（各地区週1回無料運行）	628万円
②若者の定住促進・子育て世代への支援	
・子育て世帯住宅建設等助成事業（新築10戸、増築6戸）	1,300万円
・放課後児童クラブ事業（子ども預かり事業）	1,261万2千円
・放課後子ども教室事業（子どもの居場所づくり事業）	1,393万8千円
・病児・病後児保育事業	853万8千円
③生活環境施設の整備	
・環境センター整備事業	14,369万3千円
◎活力あるまちづくり	
①町民参加のまちづくり	
・町民発想地域づくり助成事業	100万円
・プレミアム商品券の発行助成事業	1,000万円
②観光資源を活かしたまちづくり	
・フリークライミング施設（岩登り体験施設）整備事業	2,836万5千円
・花火大会と灯籠流し補助	900万円
③農林業の基盤づくり	
・農産物等安全確保対策事業補助（放射能測定機器購入補助）	1,080万円
・産地活性化特別総合対策事業補助（稲わら収集機導入補助）	1,175万2千円
・林道整備事業（滝沢線・八溝線・志那志沢線）	6,812万2千円
・森林機能緊急回復整備事業（間伐事業・作業道開設）	7,748万4千円
◎豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり	
・英語指導助手招致事業（児童生徒の英語力向上事業）	1,637万7千円
・被災度区分判定及び耐震2次診断判定業務（依上小・袋田小・生瀬中・黒沢中）	2,054万円
・文化福祉会館まいん公演事業	1,108万7千円

一般会計補正予算の主なもの

歳出	補正額
基幹業務システム再構築業務委託料	1億1,537万6千円
養護老人ホーム入所者措置費扶助（申請者増）	1,024万7千円
子ども手当給付金（事業費確定）	△ 3,684万6千円
奥久慈グリーンライン林道整備事業負担金（負担金確定）	△ 1,139万9千円
地域人材育成事業委託料（実績の減）	△ 650万円
観光費（事業見直し）	△ 1,260万7千円
復興まちづくり支援事業費交付金基金元金積立金（基金造成）	4,100万円
本庁舎災害復旧費（望楼撤去等）	2,717万5千円
林業施設単独災害復旧費（袋田一条地内）	609万3千円
土木施設単独災害復旧費（11か所）	1,410万円
台風15号河川災害復旧工事費（18か所）	1,115万円
西中学校復旧工事費（受水槽・法面）	666万3千円

**平成23年度一般会計予算
復興まちづくり
支援事業費交付金基金を造成**

平成24年第1回定例会において平成23年度一般会計ほか5特別会計の補正がありました。

一般会計は、3616万8千円の増額で予算総額は、歳入歳出それぞれ94億6743万6千円となりました。

国民健康保険事業特別会計、3019万2千円の増額。介護保険特別会計、963万2千円の増額。浄化槽整備事業特別会計、3474万円の減額。下水道事業特別会計、100万円の減額。水道事業会計、510万円の増額がありました。

なお、歳入歳出予算のほか、繰越明許費の設定12件、債務負担行為の追加4件、変更1件及び地方債について追加1件、変更12件の補正がありました。

提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
第1号	大子町暴力団排除条例（暴力団を排除するため制定）	原案可決
第2号	大子町復興まちづくり支援事業費交付金基金条例（基金の設置）	原案可決
第3号	大子町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（名称及び位置を追加）	原案可決
第4号	大子町税条例の一部を改正する条例（法律の改正による）	原案可決
第5号	大子町産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例（減免措置期限の延長）	原案可決
第6号	大子町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（法律の改正による）	原案可決
第7号	大子町介護保険条例の一部を改正する条例（保険料の改定）	原案可決
第8号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例（法律の改正による）	原案可決
第9号	大子町特別導入事業基金条例を廃止する条例（事業の終了）	原案可決
第10号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について（新規事業の追加）	原案可決
第11号	大子温泉保養センター森林の温泉の指定管理者の指定について（財大子町開発公社を指定）	原案可決
第12号	大子町観光物産館の指定管理者の指定について（財大子町開発公社を指定）	原案可決
第13号	大子駅前駐車場の指定管理者の指定について（大子町観光協会を指定）	原案可決
第14号	袋田観瀑施設の指定管理者の指定について（財大子町開発公社を指定）	原案可決
第15号	大子北デイサービスセンターの指定管理者の指定について（（福）清和会を指定）	原案可決
第16号	大子東部堆肥生産プラントの指定管理者の指定について（大子東部堆肥生産プラント利用組合を指定）	原案可決
第17号	平成23年度大子町一般会計補正予算（第6号）（3,616万8千円の増額）	原案可決
第18号	平成23年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）（3,019万2千円の増額）	原案可決
第19号	平成23年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）（963万2千円の増額）	原案可決
第20号	平成23年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）（3,474万円の減額）	原案可決
第21号	平成23年度大子町下水道事業特別会計補正予算（第1号）（100万円の減額）	原案可決
第22号	平成23年度大子町水道事業会計補正予算（第4号）（収益的支出を510万円増額）	原案可決
第23号	平成24年度大子町一般会計予算（83億1,000万円）	原案可決
第24号	平成24年度大子町国民健康保険事業特別会計予算（27億9,927万8千円）	原案可決
第25号	平成24年度大子町後期高齢者医療特別会計予算（2億3,139万円）	原案可決
第26号	平成24年度大子町介護保険特別会計予算（20億6,244万5千円）	原案可決
第27号	平成24年度大子町介護サービス事業特別会計予算（1,245万5千円）	原案可決
第28号	平成24年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算（1億1,164万4千円）	原案可決
第29号	平成24年度大子町下水道事業特別会計予算（11万1千円）	原案可決
第30号	平成24年度大子町水道事業会計予算（7億5,966万9千円）	原案可決

除染で安全安心な地域を

答 今後、除染追加指定を受ける



藤田友晴 議員

問 原発事故による除染については、近隣市町は民間ボランティア団体等により10月に実施されている。また、茨城県内20市町村が除染計画を策定し、国と連携を取っている。

一方で、線量が高いという風評被害になってしまいうという心配で除染計画策定に手を挙げなかった市町村もあると聞いているが、大子町への観光客の誘客や、この地域で安全で安心な生活を送っていくためにも対応すべきではないか。

答 町長 本町においては北部の地

区が若干数値が高いという

ことであつたが、風評被害を考えると除染対象地になれば観光、農業に大きな被害をもたらすと懸念し、その当時は見送つた。しかし、今追加指定を受ける予定になつている。

人口の減少と雇用対策について

問 町の人口推移をどうとらえているか。

答 町長

利用されているのか。また、周知等PRが弱いのではないか。

本町は少子化に加え、過疎化の進行もある。町内経済の縮小や地域の担い手不足によるコミュニティの崩壊等重大な事態を招きかねず、危惧している。

答 企画観光課長

雇用促進奨励金は1社。地域人材育成事業では8名の新規雇用があつた。商工会、企業連絡協議会と連携し、PRに努めている。

問 人口の減少、若者の流出は就労の場が少ないことにあり、企業誘致や企業支援を強く進めるべきだ。

答 町長

配分方法を県は公表しない。被害状況を考へての配分だったのでないか。現時点では防災無線設備整備に充当する。

町では新たな企業誘致や、新たに町民を雇用する企業に助成を行うなど、雇用確保対策や子育て支援の少子化対策をしている。

問 助成制度等どれくらい

答 町長

町県民税の申告会場の設定「みどり号」運行時間、町内の休憩イス設置、住宅付近の環境整備等、高齢者にやさしい政策の実現を望む。

高齢者にやさしい町づくりを

問 町県民税の申告会場の設定「みどり号」運行時間、町内の休憩イス設置、住宅付近の環境整備等、高齢者にやさしい政策の実現を望む。

答 町長

総合計画に基づき高齢者福祉計画、障がい者計画を策定し各種事業を行っている。



▲山林の除染作業

防災行政無線の早期整備を

答 24年度予算に調査費を計上



吉成好信 議員

問 町長は、前定例会で、緊急時の情報伝達手段の確保、被害を最小限にとどめるための緊急情報システムの整備は不可欠である。町民の安全・安心を考えたとき、集落ごとに設置をする緊急情報通信システムは整備すべき課題だと答弁しているが、早急に整備すべきである。

答 町長

新年度予算に防災行政無線設備の整備調査費を計上した。大子町のような地形的条件を勘案した設備の整備内容や規模、オプション機能の内容や経費、メンテ

ナンス経費、一定の整備条件の下での整備費等について、基礎的な調査を行い、財政計画や整備機関等との



▲大子町消防本部通信指令室

整合性等を検討し、総合的に整備が可能かどうか判断の上、設計を検討する。
問 住民の安全のためにも早く設置をすべきだ。
答 町長 段階ごとに報告し、地域の方々への説明会や推進協議会等を検討する。

超高速ブロードバンド未整備地区の解消を

問 総務省の全国を光の道でつなぐ、超高速ブロードバンド未整備地区が解消されていない。

大子町で現在利用できているのは国道118号線沿いの2局と4局地内だ。未整備地区対象世帯数が約3000世帯ある。

国は、2015年(平成27年)全世界でサービス利用可能を目標にしている、早急に対応をすべきである。

答 町長

問 消防行政の強化・確立のため最小限の施設人員を定める、消防力基準があるが、大子町の必要人員を算出すると81名必要になる。最低人員配置でも58人が必要である。
現在は42人で、16人が不足している。消防の人員確保についてどのように考えているのか。

「安心・安全」消防行政の強化確立を

答 町長

今後、県の広域無線へ向する職員もあるので、職員の増員を考えている。

その他の質問

○広域的避難計画について

町民参加による防災訓練実施を

夏ごろまでには実施する



藤田 稔 議員

問 震災等の教訓を生かした町民参加の防災訓練実施の考えは。

答 町長

防災対策手段が有効に機能するか夏頃までに実証訓練を実施する。さらに防災対策室(仮称)を設ける。

問 防災マップの作成、避

若い世代が

定住できる施策の考えは

問 独身者を有する団体や出会いサポーター組織との連携の考えは。

答 企画観光課長

J A、商工会、森林組合

難誘導案内板や避難場所の設置状況は。

答 町長

ハザードマップは今年度新たな危険箇所を追加し作成中である。案内板は検討する。避難場所は数日間宿泊でき、さらに建設協会との協定で電力も供給出来るようにする。

問 初原地区の企業誘致で70名の雇用が生まれると聞くが。

答 町長

経営者の方との話し合いの中で、そのような方向で進んでいる。

答 町長

放課後児童クラブは、まいんどだいが保育園を予定している。総定員数は51名のところ、まいなが33名、だいが保育園が16名の申込みとなっている。放課後子ども教室は、社会教育団体、茨城県生涯学習社会教育研究会との業務委託契約を取り交わした。

問

放課後子ども教室を開設していない学区のアンケート調査結果は。

答 町長

5つの小学校区の保護者から約68.7%、167人の回答があった。新年度から、開催された場合、参加させたい、事業によっては参加させたいと言う回答が約半数以上あった。

問 新年度から開設可能か。

答 生涯学習課長

学校との調整、保護者や、

キャラクター「たき丸」で

観光客の増加を

問 マスコットキャラクター「たき丸」は、観光イベント等において誘客対策にどの様に生かしていく考えか。

答 町長

報道関係者等に披露し、周知を図りたい。キャラクターデザインは使用規定に



▲袋田の滝キャラクター「たき丸」くん

地域住民の方の参画、更に安全管理等の確保ができれば実施する。に基づき活用する。ぬいぐるみの貸出しについては、申請があれば一般、団体に無料貸し出す。

その他の質問

○町民参加の街づくりについて

本町河川の水質汚濁を改善せよ

答今後、進めていきたいと考える



野内健一 議員

を因っているが、震災等の影響で若干滞っている状況で

あり、最終的には目標を達成できるよう努力する。
問 公共下水道事業について、第五次総合計画では休止、その後廃止となり、それに変わるものとしてコミュニティ・プラント事業を実施したいとなっている

が、現在の程度まで、検討しているのか。
答 建設課長 コミュニティ・プラントを実施するためには、施設

猟友会員の 高齢化と減少の改善策は

問 イノシシによる被害は大子町ばかりでなく全国的に年々拡大し、電気柵やトタン板棚の設置、茨城県猟友会大子支部の御協力等さまざまな対策を実施しているが、猟友会員の高齢化と会員の減少が問題となっている。町として何か改善

策は持っているか。

答 町長

本町としては県で行う狩猟免許取得の講習会開催の周知やポスターによる啓発活動を行うとともに、茨城県猟友会大子支部会員の捕獲技術向上について支援を行っている。

新たに開始予定の 乗り合いタクシーとは

問 新年度より開始予定の乗り合いタクシー事業の詳細は。

タクシー会社に委託する予定で、使用する車両は原則として9人乗りの車両で行う。

答 町長 事業の開始は5月中旬から6月初旬を予定している。運行範囲は町内を八つの地区に分け、1日2地区を2回往復する予定である。料金は、一律片道300円とし、運営会社は町内の

初めての試みなので、初年度の利用者の推計については、1日平均12人程度を目指している。この事業を実施することで町民無料バスを減らすことはない。

問 久慈川を主とする本町河川の水質汚濁の原因は、家庭からの生活排水と思われるが、現時点で生活排水処理の普及率は、どのくらいまで改善されているか。
答 町長 大子町生活排水処理普及率は、平成17年度末で18.4%であったが、平成23年3月末では、33.8%となり15ポイント余り改善されている。
問 第五次総合計画で目標としている50・6%は達成できそうか。
答 建設課長 現在は合併浄化槽の推進



▲久慈川（湯の里大橋付近）

豊かな人間性づくりの教育とは

答 郷土愛を育む教育活動の推進



大森勝夫 議員

問 平成24年度予算案に「豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり」というテーマがある。具体的な案は。

答 教育長

大子町は「読書のまち」の宣言をしているので、学校図書や「家読」による読書活動の充実を目指していく。さらには、道徳教育の推進と郷土を愛する教育活動の実施も努めていく。

問 子供たちに大子町を理解してもらおう教育の実施が、郷土に誇りを持たせるきっかけづくりだと思う。

実施の強化はできないものか。

答 教育長

現在小学3、4年生の社会科で、副読本「大子」を活用し町の理解を深める授業を行っている。小学3年から中学3年生までの総合的な学習の時間では、学校ごとに特色のある実践活動をしている。清掃登山などはその一例である。

問 子供に伝えたいふるさと自慢を町民から公募することにより、町全体で郷土愛を盛り上げる活動を実現できないか。

答 町長

地区ごとの事業や伝統文化、自然などは現在の手法の学校教育のなかで伝えていけばいいと考えている。



水郡線の活用による観光客の誘客対策は

問 水郡線の積極活用による観光客の誘客対策への取り組みと経過は。

答 町長

関係団体への働きかけと、地元の県議の力添えに

より、茨城県の予算で、水郡線のSL走行が、本年秋に3日間のみ実施されることになった。

問 継続的なSL運行を目指し、今から各方面への積

極的な働きかけを進めるべきではないのか。

答 町長

まず秋に実施されるSL運行の成功を重視し、並行して水郡線の沿線にある各自治体の考え方を確認していく。

再生可能エネルギー活用への町の取り組み

問 再生可能エネルギーは新たな産業として捉え、積極的に実施するべきと思うが、町長の考えは。

答 町長

木質バイオマス発電は焼却灰の放射線値の問題があり難しい。

問 助成金制度である再生可能エネルギー促進事業を活用すれば、公共施設の太陽光パネルなどの費用が助成される。実行するべきではないのか。

答 町長

町にあった方法を検討して行く。



▲小学校の運動会風景

災害義援金の使い道は

答 罹災見舞金として活用する



藤田英夫 議員

問 昨年3月の震災の後、町に義援金や支援金がおくられてきたが、総額は幾らになっているか。

答 町長

平成24年2月24日現在、茨城県市町村振興協会ほか10団体から4104万1499円、企業及び町民の皆さんから43件、404万4956円、合わせて53件、4508万6455円。

問 災害見舞金は別会計で町民のために使うべきと考える。一般家庭でも停電や断水等、大変な思いをした。町はこの義援金に乗せをし、全世帯に見舞金をおく

るべきと考えるが。

答 町長

義援金は、今回の震災の復旧、復興に活用するためいただいたので、公共施設の復旧経費、東日本大震災の罹災見舞金として、活用している。

緊急速報エリアメールの

活用を

問 NTTの緊急速報エリアメールは、気象庁が発信する緊急地震速報や国・地方公共団体が配信する災害や避難情報を回線混雑の影響を受けず受信することができ、住民は使用料や情報料も無料となっている。町では自然災害の情報や山火事、家屋の災害情報、それに伴う避難情報など、町の安全にかかわる情報を発信できる。このエリアメール機能の拡充を図り、町民が安心して住めるまちづくり

を推進したい。町民の安全と安心のために、町民が安心して住めるまちづくりを推進したい。町民の安全と安心のために、町民が安心して住めるまちづくりを推進したい。

財政調整基金の積立金状況は

問 一般会計と国民健康保険特別会計の財政調整基金の積立金の推移は。

答 財政課長

一般会計は、23年5月末で、12億5797万円となる見込み。財政調整基金と同時に減債基金は、23年度末で2億5615万円となる見込み。トータルすると

18億7645万円となる見込み。

問 大子町は4月から町民税、介護保険料、保育料、町営住宅の家賃など、値上げしようとしているが、積立金を取り崩し値上げはすべきでない。

答 建設課長

町営住宅の家賃は年に1度、収入状況を確認しており、収入が上がった場合は家賃は上がる。

答 町長

介護保険事業の値上げについての資料をご理解願いたい。国民健康保険は、24年度は据え置きで値上はしない。

こそが今やるべき課題だと考えるが。

答 町長

停電で有線回線がダウンした場合でも利用できる衛星電話を導入した。また、エリアメールは、災害情報配信するサービスなどを導入する予算を計上した。



▲上小川町営住宅

消防緊急時の対応は

答 各消防団に順次出動指令する



岡田敏克 議員

う。消防の出動態勢について検討を要する点があるのではないかと。

答 消防長

各消防団には順次出動指令しており、市街地が火災になった際は、第1次出場1分団、5分団、6分団と出場部隊が決まっている。サイレン吹鳴は、市街地及び消防本部に近い火災の際は、消防本部で吹鳴をしている。また、各地区においては、管轄する消防団、分団にお願いをしている。役場のサイレン吹鳴は、厳重に指示をした。

子育て支援住宅入居は厳正に

問 子育て支援住宅は、えのき台、ふくろだ駅前、上小川の3か所で、全部で34戸あるが、公務員が5世帯入居している。公務員は遠慮すべきと思う。また、入

居者の選考は、書類審査のうち、抽選にすべきではないか。

答 副町長

子育て支援住宅に限らず町営住宅は入居資格を有す

方ならどなたでも入居できる。公平に募集を行っている。抽選は行っていない。

グラウンド・ゴルフの推進で健康のまちづくり発信を

問 グラウンド・ゴルフは全国で約300万人の愛好者がいる。グラウンド・ゴルフ公認コースを増設しグラウンド・ゴルフを推進し、健康のまちづくりとして全国発信をしてはどうか。また、県大会、全国大会等を開催して誘客を図れば、町の活性化に大きく貢献できるスポーツではないか。

答 町長

町内にある2つの未認定コースは日本グラウンド・ゴルフ協会の認定条件は整っている。大子広域公園周辺コースは、申請の準備をしている。認定コースを整備され、楽しめる環境を整うことは、町民の資質、技術の向上にも寄与でき、またねりんピック等の全国的大会、県内のクラブス



▲グラウンド・ゴルフ

その他の質問

○復興基金及び町の義援金について

○一般質問で提案した項目の検討結果について

ポーツ大会等の会場として誘致することもでき、町民が生涯にわたり、スポーツ・レクリエーションによる健康づくりに町を挙げて推進していることを広く発信することができると考えている。

新年度予算、重点施策と課題は

答基本は、住みやすいまちづくり



齋藤忠一 議員

問 少子、高齢化、そして過疎化が進む中、新年度予算が、今議会で審議されるが、町長は予算の中でどのような施策に重点を置いたのか、また、これからの課題は何か。

答 町長 町民が住みやすい町づくりを基本として進める。特に、町民に直結する課題としては、昨年の大震災、台風を教訓に町民の生命にかかわる対策として、防災行政無線の調査費をはじめ、数項目を計上した。今後、課題として、人口減少が続いており地方税の減少とい

問 人口減少に若者の流出が大きな問題となっている中、若者の定住を図る事が最重要課題と思うが、予算に反映されているか。

答 町長 雇用の場の確保が若者定住の第一条件であり元気な町づくりの第一歩と考えている。また、関連して、子育て支援の中でも今年度予算として、子育て世帯住宅

問 建設助成事業の他、継続事業も含めて計上した。

問 予算関連で、国、県の補助事業がある。現在、県で進めている原発に依存しない新しいエネルギーとして、太陽光などの導入事業がある。これを代替電気として、庁舎、学校、避難所、上水道などに積極的に設置してはどうか。

答 町長 県にも予算の枠があるが、耐震性なども考慮しながら、色々な施設に設置したい。

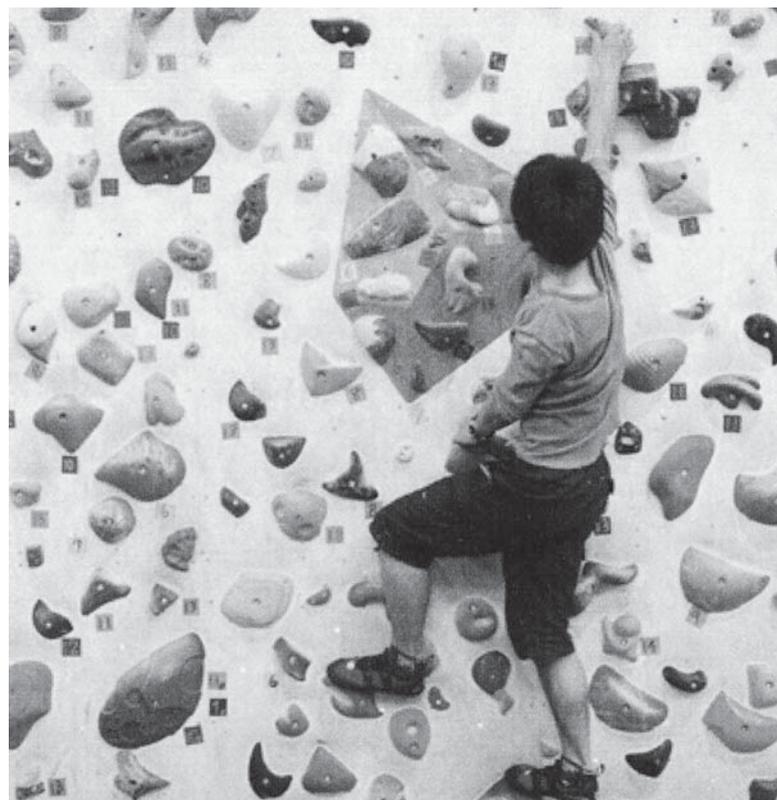
新規事業、フリークライミングの効果は

問 新年度の、新規事業としてフリークライミング施設整備事業があるが、整備する目的、また、この施設による効果は。

答 町長 昨年の震災、そして原発事故による風評被害により、観光客の減少があり、

答 町長 県にも予算の枠があるが、耐震性なども考慮しながら、色々な施設に設置したい。

答 町長 県にも予算の枠があるが、耐震性なども考慮しながら、色々な施設に設置したい。



▲フリークライミング

町の災害見舞金はどのように使われるか

となっており、国体に参加する一番の早道と言われている。また、やみぞの体育館に設置するということ

で、当然、やみぞの宿泊施設との連携も考え合わせていきたい。

問 町に寄せられた災害見舞金は、広く平に使うべきと思うが。

答 財政課長

東日本大震災による災害見舞金、あるいは公共施設等の災害復旧など、災害関係経費に充当していく。

震災、放射能等の今後の対策は

答 太陽光発電の調査を進めている



佐藤正弘 議員

問 原発の今後のあり方について、自然エネルギーへの転換で徐々に廃炉と多くの人が考えている。公共施設等への太陽光利用、民間の屋根等への設置の補助も検討課題としてあげられるのではないか。

答 町長 太陽光の発電については、「まいん」あるいは学校の体育館で設置できないか今調査を進めている。今後、国の補助が考えられるので、それらとマッチした様な支援策を取り組んでいきたい。

問 震災等が起きた場合、

役場自体が震災に耐えられるのか。また、避難場所と

して上げられている113か所は十分その機能を果たせるのか。

答 総務課長

役場は、振動に対しては、被害が非常に小さいとされているが心配が全くないとは言えない。避難場所につ



▲太陽光発電

いては、老朽化等の指摘もあり今年度できるところから見直しを考えている。

問 今年1月27日に汚染状況重点調査地域の申請を行っているが、今後どのような調査、除染活動を行っていくのか。

答 町長

汚染状況重点調査地域の指定を受けなくても、国の

町長の公約、施策等について

問 企業誘致や雇用の場の確保は、町長の公約でもあり、町民が一番望むものもある。予算が重点的に計上されていないのではないのか。また、初原地区の福祉施設は企業誘致とは言えないのではないか。

答 町長

企業誘致に対して予算の計上というのは大変難しいものがある。初原地区への特別養護老人ホーム誘致は、りっぱな企業誘致である。

問 子育て世代住宅建設への補助制度は、建設関連業者の雇用等、経済波及効果

除染方法と同様の除染作業を町独自で実施する考えであったが、放射能問題の期間を考慮し申請した。また、実証的な除染作業の結果、居住空間の線量が0.23マイクロシーベルトを超える原因が森林にあると判断された場合、森林の除染について、国、県、関係機関と協議し対応する。

を考えると対象を広げるべきと思うが。

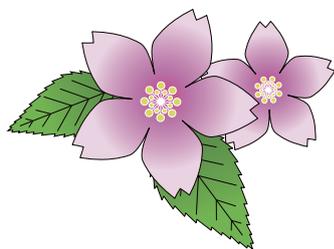
答 町長

子育て世代や二世帯等同居世帯の住環境の整備促進と町外からの転入者の増加、若者の定住促進を図ると共に町内関連業者の振興、消費需要の拡大を図るものである。



常任委員会等の構成

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席 番号	氏 名	常 任 委 員 会
小林 秀次	吉成 好信	藤田 健	野内 健一	藤田 稔	藤田 友晴	鈴木 陸郎	佐藤 正弘	齋藤 忠一	金澤 真人	大森 勝夫	岡田 敏克	中郡 一彦	櫻岡 義信	菊池 靖一			
委員		委員							副委員長		委員長			委員	総務		
			委員		委員		副委員長	委員長					委員		産業建設		
	委員			委員長	委員				委員			副委員長			文教厚生		
	オブ ザ バー		オブ ザ バー	委員	委員長		委員	副委員長			委員				議会運営 委員会		
議員													議員		茨城北農業 共済事務組 合議会		



※詳細は議会事務局へお問
い合わせください。
(☎72-1115)

6月定例会開催予定
 ▼6日(水) 開 会
 ▼7日(木) ～10日(日) 自宅審議
 ▼11日(月) 一般質問
 ▼12日(火) 一般質問
 ▼13日(水) 一般質問
 ▼14日(木) 逐条審議
 ▼15日(金) 逐条審議
 閉 会

議会傍聴は町政を知る良
い機会です、お気軽にお出
かけください。

議
会
を
傍
聴
し
ま
し
よ
う

あなたが出された請願は

請 願 名	請 願 者	付託委員会	結 果
「東海第2原発の廃炉を求める意見書」 採択を求める請願	大子町池田2364番地5 新日本婦人の会大子班 代表 益子絹枝	総務委員会	継続審査

※任期満了により審議未了廃案となりました。

あとがき

大震災とそれによって
起きた福島第1原発の事
故は自然の脅威と安全を
無視した原子力のありか
たに警鐘を鳴らした。

放射能は、農林漁業、
観光に多大な損失と影響
を与え、見えない放射能
の恐怖は、人々の生活を
脅かし復興の妨げとなっ
ている。

昨年の大震災は、指摘
されてきた地震国日本の
普段の防災体制の弱点を
さらけ出した。

今こそ、大震災と原発
事故の教訓に学び人間と
自然を大切にするエネル
ギー政策が求められるの
ではないか。

(前広報委員 佐藤正弘)

大子町議会 広報委員会

委員長 齋藤 忠一
 委員長 金澤 真人
 委員 大森 勝夫
 委員 藤田 友晴
 委員 藤田 稔
 委員 吉成 好信
 委員 野内 健一

今回の表紙

穏やかな春の陽ざしに誘
われてお花見をしました。

(池田保育所撮影)